

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I		必修（精） 選択（社.心）	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
森屋 直樹	講師控室	kyoumu	Teams 授業中に対応		
授業の目的・概要	<p><目的> 精神障害者の生活実態と社会情勢、医療、福祉の全体像について、理解する。</p> <p><概要> 授業はテキストを中心に同時双方向型授業でパワーポイントを使用して進めていく。また、テキストに書かれている内容が実践現場においてどのように行われているか事例をもとに説明する。</p>				
学習上の助言	精神障害者の生活実態と社会情勢、医療、福祉の全体像について理解できるよう学んでほしい。				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座4 第2版 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I /編:日本精神保健福祉士養成校協会編/中央法規出版				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ソーシャルワーカーとしての基礎的知識を習得し、利用者の立場に立った視点を持つことができる。		WP(5)、(6)		
②	ソーシャルワーカーに必要な理論と援助スキルに関心を持つことができる。		HSU(6)、WP(6)		
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーション 講義の概要・目的・評価方法について理解する。	同時双方向型授業	シラバスを確認する。	4	
2	精神保健医療福祉の歴史と動向① 精神保健医療福祉の歴史と動向について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
3	精神保健医療福祉の歴史と動向② 精神保健医療福祉の歴史と動向について理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
4	精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識① 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
5	精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識② 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
6	精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識③ 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
7	精神科リハビリテーションの概念と構成① 精神科リハビリテーションの概念と構成について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
8	精神科リハビリテーションの概念と構成② 精神科リハビリテーションの概念と構成について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
9	精神科リハビリテーションのプロセス① 精神科リハビリテーションのプロセスについて理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
10	精神科リハビリテーションのプロセス② 精神科リハビリテーションのプロセスについて理解する。レポートについての説明を受ける。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
11	医療機関における精神科リハビリテーションの展開① 医療機関における精神科リハビリテーションの展開について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
12	医療機関における精神科リハビリテーションの展開② 医療機関における精神科リハビリテーションの展開について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
13	医療機関における精神科リハビリテーションの展開③ 医療機関における精神科リハビリテーションの展開について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
14	医療機関における精神科リハビリテーションの展開④ 医療機関における精神科リハビリテーションの展開について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	
15	総まとめ	同時双方向型授業	教科書を読み、用語を調べる。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

試	定期試験 到達度評価・評価のポイントを参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	40	0	0	0	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	60	10	0	0	0	70	
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10	
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	精神障害者の生活とそれをめぐる支援の歴史、文化的要因や社会的現状について、教科書の範囲内から出題する。授業中に説明した言葉の意味を正確に把握しているかという観点から評価する。				試験の解説を実施する。	
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①		授業期間中にレポートを課す。 自分なりの考え方やディスカッションの感想などを記載してもらう。				添削およびコメントを付したレポートの返却。	
	②	✓						
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>Microsoft Teams を使った同時双方向型授業を行う。 課題ダウンロードや映像共有を行うため授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。 尚、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。</p> <p>教員の実務経験：精神保健福祉士取得後 15 年の実務経験。 実践的授業の内容：教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、精神保健福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。実際の支援場面における精神保健福祉士の価値や倫理について、教員の現場経験も学習における資料の一助としながら学べるような講義を実施する。個人情報には配慮し、個人が特定できる情報は提示しない。</p>								